

松本市立波田小学校 学校だより 令和5年2月21日



# まつかぜ No.12

## まとめの3学期 いい締めくくりを

「一月往ぬる二月逃げる三月去る」正月から3月までは行事が多く、月日が足早に過ぎてしまうことをいう言葉です。忙しく、慌ただしさを感じさせる3学期ですが、落ち着いた学習や生活ができるようにしていきます。

さて、間もなく、今年度のまとめとなる3月を迎えます。子どもたちの成長には、一人一人の頑張りと努力が、そして、それを支えてくださった、たくさんの人の励ましがあったことだと思います。是非、ご家庭でも、卒業や進級を前に1年間を振り返り、お子様の成長を一緒に喜んでください。また、子どもたちには、一日一日を大切にして、クラスの友だちや先生と、多くの思い出をつくってほしいと思います。

3月16日には、149名の6年生（副学籍を含む）が卒業します。卒業生と保護者の皆様に心からお祝い申し上げますとともに、子どもたちへの指導、支援に関わってくださった多くの方々へ厚くお礼申し上げます。また、他の学年の子どもたちも1年間の総まとめに取り組んでおります。進学、進級への大切な残りの日々も、変わらぬご支援ご協力をよろしくお願ひいたします。

### 2月の校長講話より（要旨）

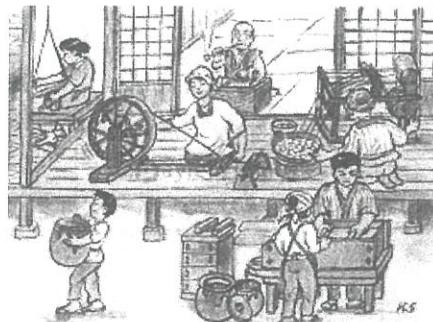
毎日、約230人の児童が利用している上高地線。電車が大好きな子も多いですね。その上高地線はちょうど100年前につくられました。今日は、その頃の波田のこと、松本市のことをお話ししようと思います。

上高地線が開通した1922年には、列車は今の安曇小の近くの島々まで行っていたので、島々線と呼ばれていました。そのころの松本は養蚕といって、お蚕様の繭から絹糸をとる産業が盛んでした。片倉工業という会社を中心に松本は蚕糸業で大発展しました。県庁所在地ではないのに、日本銀行の支店がおかれたほどの発展ぶりでした。当時の波田も、スイカより養蚕が盛んでした。波田の人たちは、お蚕の品種改良や蚕糸技術の改良などに努め、松本の養蚕業の発展を大きく担い、貢献していました。

また、農閑期に蚕糸業ができるよう、波田では夏から秋にかけて繭を生産していました。なぜ秋に繭を生産できたのでしょうか。その秘密は「風穴」にありました。涼しい風穴にお蚕の卵を保存することでふ化の時期を調整し、秋に繭を生産していました。生産調整です。お蚕の卵が風穴で保存できることを江戸時代に見つけた人がいたのです。すごいですね。卵が風穴で保存できることが広がると、風穴でお蚕の卵を保存してもらおうとあちこちから頼まれるようになり、その連絡のために郵便局ができました。稻核郵便局です。携帯電話や自動車がなかった時代ですから、連絡は郵便が一番でした。

当時は大きな町以外の郵便局は珍しかったのですが、稻核には郵便局ができたのです。紙の上に産ませたお蚕の卵を郵便で送ってきたり、お蚕の卵を何月に送り返してくださいという連絡をしたりするために稻核郵便局は大繁盛したそうです。なんと松本郵便局よりも取り扱う郵便が多かったそうです。

100年前の上高地線は、風穴にお蚕の卵を運ぶ人たちや、卵を送り返してもらう日を連絡する郵便を運ぶ郵便屋さん、また波田でつくった繭や蚕糸を松本に運ぶ人たちをたくさん乗せていましたのでしょうか。こうした歴史があって、波田は発展し、今に至っています。是非みなさんのおじいさん、おばあさん、地域の知り合いの方に波田の昔のことを聞いてみてください。そして、わかったことがあつたら、私にも是非教えてください。

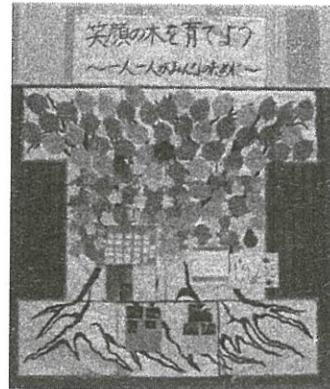


## 児童総会～「笑顔の木」が立派に育ちました。～

2月1日（水）に行われた、3・4・5・6年生による児童総会は、全体では集まらず、講堂と教室をオンラインでつなぐ形を取りました。総会では、児童会長はじめ各委員長が一年間の活動を振り返ってくれました。議案書をよく読み込み、内容を短くまとめて話したり、各学級から出される質問や意見に受け答えしたりする姿が、大変堂々としており立派でした。

昨年4月、「笑顔の木を育てよう～一人一人がみんなのために～」という児童会目標が書かれた大きな模造紙が、講堂に掲示されました。初めは真っ白な模造紙でしたが、10ヶ月が経った今は、全校で取り組んだ児童会活動の様子や子どもたちの感想がいっぱいの、色とりどりの「葉や実」が育ち、取り外してしまうのもったいないと思える、波田小学校の自慢の「笑顔の木」になりました。書かれている内容を読んでみると、1年生から6年生まで、全校児童の言葉や活動が飾られているのも素敵です。4・5・6年生の皆さん、学校生活を豊かに楽しくしていこうと活動してくれた証です。

この総会では、5年生46人の新役員も承認され、6年生より委員会ファイルが引き継がれました。緊張の中に、頑張るぞという決意が見られた引継ぎの瞬間でした。児童会活動は、学校を過ごしやすく、楽しくするための大切な活動です。仲間たち、担当の先生と協力し合って、よりよい波田小学校を作っていく様子が、写真とともに伝わってきます。



## 育てた大豆で「豆腐作り」に挑戦 給食でも味わいました

2年生が、「波田農村生活マイスターの皆さん」を講師にお招きして、春から育ててきた大豆を使った「豆腐作り」に挑戦しました。前日に水に浸しておいた大豆を「ミキサーにかける」「煮る」「豆汁を絞る」「にがりをさす」「固める」等の加工や調理方法を教わりながら、手作り豆腐を作ることができました。育てた大豆は給食でも「豆サラダ」として全校でいただくこともできました。自分たちで作物を育て、収穫したものを調理し、多くの人に食べてもらうという貴重な体験をすることができました。お世話になった方々にも感謝です。ありがとうございました。



## お知らせ

### (1) 令和4年度 卒業証書授与式について

- ・松本市教育委員会からの通達を受け、今年度もコロナ対策を施した卒業証書授与式を執り行います。
- ・最終登校日 1・2・3・4年生：3月15日（水）3学期終業式（離任式）  
5・6年生 : 3月16日（木）卒業証書授与式
- ・卒業証書授与式は、来賓をお招きせず、卒業生、卒業生保護者、5年生、学校職員が参加します。
- ・日程等につきましては、卒業生はご案内通知、1～5年生は学年だよりでご確認ください。

### (2) コロナ関係について

2月13日現在、松本市の感染警戒レベルが「3」に引き下げられました。欠席、早退に係る変更事項につきましては、2月1日にH&Sで送信しました通知をご覧ください。インフルエンザが流行する季節であります。引き続き、感染予防対策を丁寧に行っていきます。

### (3) 長寿命化改良工事について

- ・3月20日（月）より仮設校舎建設に向けた基礎工事が始まります。工事日程や概要につきましては、別紙通知でご説明いたします。そちらをご覧ください。